

学生異動願（休学願，復学願，退学願）の記入・提出要領

1. 提出期限 異動をしたい月の1ヶ月以上前までに学務係へ提出

異動願は、学則第23条～第26条（大学院学則第23条～第24条）により、当該学部の教授会の議を経て、学長に許可を受ける必要があります。（教授会のスケジュールはあらかじめ決められています。）

このため原則として、異動を希望する月の1ヶ月以上前までに、学務係へ異動願を提出してください。

また、異動を希望や検討されている場合は、必ず事前に指導教員及び所属の学生委員に相談をしてください。

提出締切の詳細は学務係または理工学部・工学部HPで必ず確認してください。

原則として、締切を過ぎた場合は、受付出来ません。

2. 記入要領

①署名 → 学生本人が必ず署名すること。

②保証人署名 → 必ず保証人本人に署名してもらうこと。

（※大学に届出している保証人の署名が必要です。保証人が不明な場合は学務係に確認してください。）

③休学・退学の理由 → 理由を記載する。※「一身上の都合」とは記載しないでください。

理由及び休学、退学、復学によって、必要書類が異なります。

※必要書類の「指導教員等の意見書」は所属の学生委員または指導教員等に休学の理由等を説明の上、意見書を作成してもらってください。

※「詳細な理由を記載」は異動願の理由欄に理由を説明する文章を自身で記入してください。

休学の理由	必要書類及び記載事項
病気（ケガ）のため	医師の診断書
学資の支弁が困難	休学願に詳細な理由を記載
災害等により修学困難	罹災証明書
海外留学 （海外の教育・研究施設において修学）	受入先の証明書（写）
海外留学 （自主的な海外留学や長期海外生活体験）	・指導教員等の意見書 ・休学願には詳細な理由を記載
公共的な事業に参加	受入先の証明書（写）
勤務の都合	休学願に詳細な理由を記載
出産又は育児のため	母子健康手帳の写し等
家族の看病又は介護	休学願に詳細な理由を記載
進路再考 （他の進路を検討や他大学・他学部受験等）	・指導教員等の意見書 ・休学願に詳細な理由を記載する
研究意欲の喪失 勉学意欲の喪失	
その他の理由（上記以外の理由） （前期に履修する科目がない、就職活動等）	

退学の理由	必要書類及び記載事項
学資の支弁が困難，経済的理由 進路変更，就職のため 研究意欲の喪失，勉学意欲の喪失 学業不振，勤務の都合	退学願に詳細な理由を記載する
単位修得退学（博士後期課程のみ）	単位が全て取得できているか確認すること
病気（ケガ）のため	医師の診断書

復学する場合	必要書類及び記載事項
病気（ケガ）で休学した場合	医師の診断書
病気（ケガ）以外で休学した場合	復学願に詳細な理由を記載
※復学の場合：「休学理由の解消」などと事由を記載する。	

④休学の期間、退学希望日、復学希望日

- ・休学の期間は、**1回の申請**で2ヶ月以上で**1年まで**休学が申請できます。
- ・休学理由が解消されない者は、更に引き続いて1年以内の休学が認められることがありますが、**休学期間は連続して2年**までです。
- ・在学中に許可される**休学期間の累計**は、修士課程学生は**2年**までです。
- ・休学の期間は、希望月の始め（1日）から希望月の末日（30、31日等）です。

[例]前期休学を希望する場合→○年4月1日から○年9月30日と記載

後期休学を希望する場合→○年10月1日から○年3月31日と記載

前期と後期両方の学期を休学する場合→○年4月1日から○年3月31日と記載

後期と次年度の前期を休学する場合→○年10月1日から○年9月30日と記載

- ・退学希望日は希望月の末日（30、31日等）となります。
- ・復学希望年月日は月の始め（1日）となります。
- ※月の途中からや月の途中までは、希望できません。

3. 確認印

①異動願に、所属するコースのコース長及び学生委員の確認印を押印してもらってください。

担当教員が不在の場合があるので、事前に指導教員や学生委員に相談した上でコース長、学生委員に電話やメール等で自身で連絡をすること。

②経理係（K棟1階）で授業料納付確認印を押印してもらってください。

（引き落としなどで納付済み・休学中の場合も、納付確認印をもらってください。）

※授業料未納のままでは退学できません。未納の場合は、徳島大学学則第28条により「除籍」になります。

4. 注意事項

- （1）一度提出した願出は、原則、撤回できません。
- （2）確認印（コース長、学生委員、授業料納付確認印）が押印されていない場合は受付できません。
- （3）修正は必ず訂正箇所^{二重線}に二重線を引いてその上に訂正印を押印し、訂正すること。（**修正テープ・修正ペンは、使用不可。**）
- （4）原則として、**郵送による受付はできません。**

提出前に、下記を必ずチェックしてください。

不備がある場合は、書き直しや受付できない場合があります。

- 記入した異動願は所属する学部の様式に記入できていますか？
（創成科学研究科（理工学専攻）の学生が先端科学技術教育部や工学部等の様式で記入していた場合は、全て書き直しになります！！）
- 保証人の署名は大学に届出している保証人が署名していますか？
（保証人は誰でも良いわけではありません。不明な場合は学務係で確認を！）
※特に保証人が県外在住の場合などは、締切に間に合うように署名をしてもらってください。
- 異動理由に伴う、必要書類は準備できていますか？
（必要書類が揃っていない場合、受付できないことがあります。）
- コース長及び学生委員の確認印は押印されていますか？
（締切に間に合うように、早めに教員に相談をしてください。）
- 授業料納付確認印は押印されていますか？
（授業料が未納のままでは受付できません。）
- 学務係に提出する時は、必ず印鑑を持参してください。
（訂正などがある場合に訂正印を押印するためです。）

不明なことや、やむを得ない事情がある場合は、必ず事前に学務係または所属の学生委員に相談をしてください。

問合せ先：理工学部学務係（K棟1階）

電話番号 088-656-8006

記入例

休学を希望する1ヶ月以上前に提出すること
締切は必ず確認してください。

確認印が必要

休 学 願

コース長	
学生委員	

令和 年 月 日 願 出

徳 島 大 学 長 殿

学生番号

所属するコース名は必ず記入

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

創成科学研究科 理工学専攻
修士課程 **社会基盤デザイン** コース 第○年次
署 名 徳島 太郎（本人自筆）

大学に届出している
保証人の署名が必要

保証人
署 名 徳島 大治郎（保証人自筆）

このたび、下記により休学したいので、御許可下さるよう保証人連署をもって
お願い致します。

記

休学の理由例

- ・勤務の都合
- ・学資の支弁困難
- ・進路再考
- ・病気のため
- ・留学のため
- ・勉学意欲の喪失 等

1. 休 学 の 理 由

理 由 及び 詳細な理由を記載してください。

2. 休 学 の 期 間

令和〇〇年 〇月 1日から ※（月初め）
令和〇〇年 〇月 31日まで ※（月末）
休学累計（ 〇 年 〇ヶ月）

3. 休学中の居住地

〒〇〇〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇町 X-X-X

休学中に郵便物の届く
住所を記入

TEL XXX - XX - XXXX

今回を含めた休学
期間の累計を記入
（過去に休学して
いる場合は注意）

注：疾病のため休学しようとするときは、医師の診断書を添付すること。

経理係（K棟1階）で押印を

授業料納付確認印 印

書き間違いを訂正をする場合は、下記のように訂正すること
（修正ペンや修正テープを使用した場合は全て書き直しです！！）

進路再考
~~進路変更~~

書き間違えた箇所に二重線を引き、
その上に押印し、上に正しく記入する

記入例

退学を希望する1ヶ月以上前に提出すること
締切は必ず確認してください。

確認印が必要

退 学 願

コース長	
学生委員	

令和 年 月 日 願出

徳 島 大 学 長 殿

学生番号

所属するコース名は必ず記入

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

創成科学研究科 理工学専攻
修士課程 社会基盤デザイン コース 第 〇 年次

署 名 徳島 太郎 (本人自筆)

大学に届出している
保証人の署名が必要

保証人
署 名 徳島 大治郎 (保証人自筆)

このたび、下記により退学したいので、御許可下さるよう保証人連署をもって
お願い致します。

記

退学の理由例

- ・勤務の都合
- ・病気のため
- ・経済的理由
- ・進路変更
- ・就職のため
- ・学業不振
- ・勉学意欲の喪失 等

1. 退 学 の 理 由

理由 及び 詳細な理由を記載してください。

2. 退学希望年月日

令和 〇〇 年 〇月 31 日 ※(末日)

3. 退学後の連絡先

〒〇〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇県〇〇市〇〇町 X-X-X

退学後に郵便物の届く
住所を記入

TEL XXX - XX - XXXX

注：理由が疾病の場合は、医師の診断書を添付すること。

経理係 (K棟1階) で押印を

授業料納付確認印 印

書き間違いを訂正をする場合は、下記のように訂正すること
(修正ペンや修正テープを使用した場合は全て書き直しです!!)

進路再考

~~進路変更~~

書き間違えた箇所に二重線を引き、
その上に押印し、上に正しく記入する

記入例

復学を希望する1ヶ月以上前に提出すること
締切は必ず確認してください。

確認印が必要

復 学 願

コース長	
学生委員	

令和 年 月 日 願 出

徳 島 大 学 長 殿

所属するコース名は必ず記入

学生番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

創成科学研究科 理工学専攻
修士課程 社会基盤デザイン コース 第〇年次

署 名 徳島 太郎（本人自筆）

大学に届出している
保証人の署名が必要

保証人
署 名 徳島 大治郎（保証人自筆）

このたび、下記により復学したいので、御許可下さるよう保証人連署をもって
お願い致します。

記

記入例：病気のため休学していたが、修学に支障がなくなつたため等、進路再考のため休学していたが、所属コースでもう一度がんばりたいため等

1. 復 学 の 理 由

休学理由の解消詳細な理由を記載してください。.....

2. 復学希望年月日 令和 〇〇 年 〇 月 1 日 ※（月初め）

3. 休学を許可された期間 令和 〇〇 年 〇 月 1 日から
令和 〇〇 年 〇 月 31 日まで

「休学を許可された期間」は、申請していた期間を記入します。
※過去に休学をされていてからの期間ではありません。

病気やケガで休学した場合で復学する場合と休学途中での復学する場合は、
所属するコース長及び学生委員の押印が必要です。
※病気やケガで休学した場合に復学する場合は、疾病が治癒し就学に支障
が無い旨を記載した診断書が必要です。

書き間違いを訂正をする場合は、下記のように訂正すること
（修正ペンや修正テープを使用した場合は全て書き直しです！！）

進路再考
~~進路変更~~

書き間違えた箇所に二重線を引き、
その上に押印し、上に正しく記入する